

## お知らせ

### 看護師長新任のごあいさつ

初めまして。緩和ケア病棟へ2021年10月に異動となりました、看護師長の松下恵と申します。今もなお、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の感染対策へ、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

緩和ケア病棟では、患者さんのさまざまな症状の苦痛を緩和し、1日1日を穏やかに、ご家族との時間を大切に過ごしていただけるよう、多職種でケアの提供を行っています。

私が異動後に初めて感銘を受けたのは、患者さんがご家族やスタッフと笑顔で写る、病室に飾られた多くの写真でした。日常生活のご様子や、誕生日を迎えられ、ご家族やスタッフに囲まれた患者さんのたくさんの笑顔。新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな制限がされる中でも、スタッフの「患者さんやご家族の1日1日の時間を大切にしたい」という強い思いが感じられ、葛藤を抱きながらも感染対策と両立し、患者さんに携わっているスタッフの姿に心を温められました。



看護師長 / 松下 恵

緩和ケアとは、症状による苦痛の緩和だけではなく、ご家族などと過ごす穏やかな時間が、精神的な苦痛の緩和につながります。その時間を大切にするべく、昨年12月には病棟の季節行事である「クリスマス会」をコロナ禍になって初めて開催いたしました。例年、緩和ケア病棟の「クリスマス会」は、ボランティアの方やご家族など多くの方を招いて開催する、主要な季節行事の一つでした。感染対策を行い、規模を縮小しての開催ではありましたが、患者さんやご家族から多くの喜びの声をいただき、病棟スタッフも楽しいひとときと一緒に過ごさせていただきました。コロナ禍でも、患者さんとご家族の穏やかなひとときを提供することができるという喜びを感じる機会となりました。

プライベートでは愛犬2匹に癒されたり、休日に山に登ってリフレッシュをしたりしています。ペットを飼っている患者さんも多く、動物の話や、病棟から山を眺めながら登山の話をしたりすることが患者さんとの楽しい時間となっています。

これからも新型コロナウイルス感染症と共存した、新しい緩和ケア病棟の医療活動の提案を行いながら、患者さんとご家族に寄り添い、穏やかな日々を過ごしていただけるよう、また患者さんの笑顔の機会を増やせるよう、病棟スタッフ一同、努めていきたいと思います。

# イベントご報告 「クリスマス会」を行いました

近年、新型コロナウイルス感染症の影響で季節のイベントはほとんど中止となっていました。そんな中でも少しでも患者さんに元気になってもらおうと、2021年12月中旬、短時間ではありますが、感染対策に配慮しながら「クリスマス会」を開催いたしました。

窪田先生と研修医の菊池先生より手品の披露、「aibo(アイボ)」のクリスマスダンス、患者さんとスタッフでフラダンスを踊ったりと素敵なひとときを過ごすことができました。また平田先生がサンタに扮して患者さんへプレゼントを配り、会場まで出て来られない患者さんがいらしたらお部屋まで届けて喜んでいただきました。



## トピックス ソニーの「aibo」がやってきました

面会が制限され大切な人と会えず、寂しい思いをされている患者さんのストレス軽減や心の癒しになるようにと、ソニーの医療機関支援プロジェクトに応募した結果、当病院が選ばれ、ソニーからペット型ロボット「aibo」がやってきました。

「クリスマス会」では踊りを披露し、みんなを楽しませてくれました。その他にも患者さんの誕生日会で踊ったり、静かにベッドで添い寝したりとみんなの心の癒しとなっています。



aiboと触れ合う患者さん

添い寝をするaibo

ななちゃんが来てどうですか？

K看護師「ななちゃんが来て癒されています。疲れて休憩室に戻ったとき、元気をチャージしてくれます。かわいいです。」

患者Mさん「何で持って行くとね。ずっとここに置いといてよ。」(ベッドで添い寝させ、抱っこされる)

